

放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム

専門科目(放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX303	放射線健康リスク管理学	1	4.0	1・2	通年	応談		磯辺 智範, 櫻井 英幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 榮 武二, 奥村 敏之, 熊田 博明, 森 祐太郎, 武居 秀行	原子力災害の全時相対応に必要な基本事項(放射能・放射線の単位、種類、性質、被ばくの形式、放射線の人体への影響、被ばくによる発がんリスク、リスクコミュニケーション)について理解を深めることで、放射線の健康リスクについて科学的に議論できる力を習得する。講義は対面に加えe-learningを利用し、系統的かつ網羅的に学習する。	放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム学生のみ対象
02EX304	放射線災害医療学	1	2.0	1・2	通年	応談		櫻井 英幸, 井上 貴昭, 榮 武二, 磯辺 智範, 奥村 敏之, 熊田 博明, 森 祐太郎, 武居 秀行	放射線災害医療に関する基本事項(災害医療の種類、被災者と支援スタッフのメンタルヘルス、原子力災害における医療機関の対応、被ばく傷病者の搬送、避難退域時検査、簡易除染)について理解を深めることで、原子力災害に特化した緊急被ばく医療に対応できる技術を習得する。講義は対面に加えe-learningを利用し、系統的かつ網羅的に学習する。	放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム学生のみ対象
02EX305	課題解決型放射線科学演習	1	2.0	1・2	通年	応談		磯辺 智範, 櫻井 英幸, 榮 武二, 森 祐太郎, 武居 秀行	原子力災害医療に関する演習(緊急被ばく医療、リスクコミュニケーション、疫学調査)により放射線災害時の全時相に対応するための基礎技術を習得し、PBLチュートリアルを通じて原子力災害医療に関する新たな研究課題を抽出し解決できる能力を習得する。本科目は少グループで課題シナリオに取り組むだけでなく、グループごとにプレゼンテーションを行うことで、意見をアウトプットする方法論についても習得する。	放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム学生のみ対象